

2016年度 プロジェクトメンバー募集!

本年度活動する8件のプロジェクト。メンバー募集に関するイベントは下記のとおり開催予定です。授業の合間のご相談も随時受付中。興味のある方は、お気軽にローム記念館事務室やスタジオZero (RM306) にご相談ください。

プロジェクト情報は広報誌「ippo」にも掲載されています。館内およびキャンパス内各所で配布していますのでぜひ手にとってご覧ください。



新メンバー募集イベント

- 4月2日(土)～5日(火) 11:00～16:00
プロジェクト合同説明会@ローム記念館正面入口付近 (G階 オープンテラス)
- 4月13日(水) 16:45～19:15
プロジェクト交流会@劇場空間
- 4月11日(月)～15日(金)、4月18日(月)～22日(金) 16:45～18:45
プロジェクト個別説明会@2階・3階プロジェクトルーム

編集後記

先頃、サッカー男子U-23のアジア選手権が行われ、日本が優勝した。この大会は、リオオリンピックの予選も兼ねており、3位以内に入るとオリンピックへの出場権を得る事ができる。実は、大会が始まる前、私はこの世代のこれまでの成績を見て、今年のオリンピックへの出場は難しいだろうと思っていた。ところが、苦戦が予想されていた初戦に勝つと、とんとん拍子に勝ち上がり、決勝では、好敵手韓国に大逆転勝利をおさめたのである。あまり期待していなかったせいか、このときの感動は非常に大きかった。ローム記念館プロジェクトに関わって10年以上経つが、春によちよち歩きしていたプロジェクトが、翌年の3月に、予想していたよりはるかに高い目標に到達することが、これまでも何度かあった。そんなとき、やはり今回の大会と同じように大きな感動を覚えるものだ。だから、プロジェクトはやめられない。



(同志社ローム記念館プロジェクト運営委員会委員長 大久保 雅史)

表紙の人

吉村 玲花さん

同志社女子大学学芸学部
情報メディア学科2年次生

竹永 勇真さん

同志社大学理工学部
情報システムデザイン学科2年次生
2015年度「VR Agency」所属

1年生メンバーの活躍が目立った「VR Agency」。自分の持ち味を活かして熱心に活動に取り組んでいた姿が印象的だ。先輩たちとともに学んだ事を活かし、2016年度は自分達の力でプロジェクトを立ち上げた。コアメンバーとしてプロジェクトを率いていく中で更なる成長が期待される。写真は最終成果報告会でのプレゼンテーションのようす。

プロジェクト・サポート 募金のお願い

学校法人同志社 総長 大谷 實
理事長 水谷 誠

学校法人同志社は、同志社大学ならびに同志社女子大学を中心とした法人内各学校が一致協力して同志社ローム記念館でのプロジェクト主義に基づく新しい教育・人材育成を積極的に進めています。また、これまでも現代GP申請による補助金獲得など学外資金を積極的にとりいれるべく努力をしております。この同志社独自の新しい教育・人材育成事業を発展的に展開させるために、教職員をはじめ広く社会、市民のみなさまからご支援をお願いすることとし、プロジェクト・サポート募金を実施しております。皆様方におかれましては是非ともご賛同いただき、ご協力のほどよろしくお願いいたします。募金のパンフレットおよび詳細につきましては、大学京田辺校地総務課(ローム記念館事務室)にお問い合わせください。募金は、大学資金課、女子大学経理課、各校事務室でも受け付けます。

DIR

[ディー・アール]



プロジェクトライフの
ススメ

2016年度プロジェクトメンバー募集!

Vol.25
April 2016



誰もが望む「楽しく充実した」学生生活。
 あなたが「楽しい!」「充実している!」と感じるのは
 どんときだろうか。

学部や学科、学年を超え、
 さまざまな人が集まって新しいものを生み出す空間
 「同志社ローム記念館」。
 ここでのプロジェクトライブもまた、
 楽しく充実した学生生活のひとつの形だ。

目標に向かって一緒にがんばる仲間と過ごす時間が楽しい、
 みんなでアイデアを出しあうのが楽しい、
 どんどんスキルアップできるのが楽しい、
 ひとつひとつ仕上げていくプロセスが楽しい…。

今年も新たなテーマで9プロジェクトがスタートする。
 さあ、あなたも同志社ローム記念館で
 プロジェクトライブを満喫しよう。

プロジェクト ライフの ススメ

Pick
 up!

プロジェクトルーム

ローム記念館には、各プロジェクトの活動拠点「プロジェクトルーム」がある。
 活動がうまくいかどうかは、プロジェクトルームをうまく活用できているかどうかである、と言っても過言ではない。
 限られた時間の中、授業の合間や授業後の時間をうまく使ってルームでメンバーと対話する。企画を練るにも、コンテ
 ンツをつくるにも、チームとして納得のいくものに仕上げるには、いろんな人の意
 見を聞いて検討を重ねることが必要だ。
 メンバー同士の他愛のないおしゃべりも、刺激となり、アイデアのヒントにもなり、
 高い成果にしっかり役立っている。
 なにより、仲間と過ごす時間は楽しいものだ。



この春、劇場空間で放映しているプロジェクト紹介ムービーの一幕。

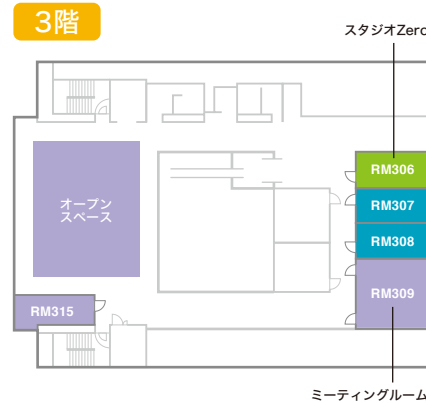
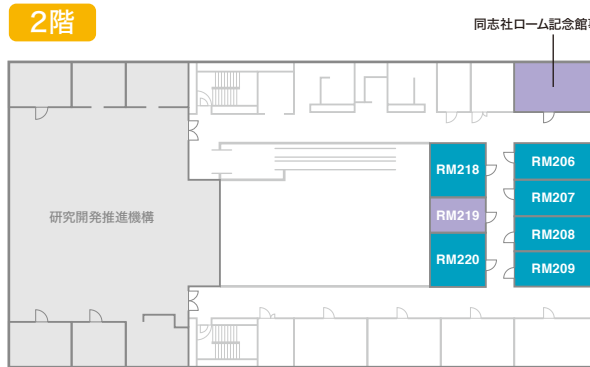
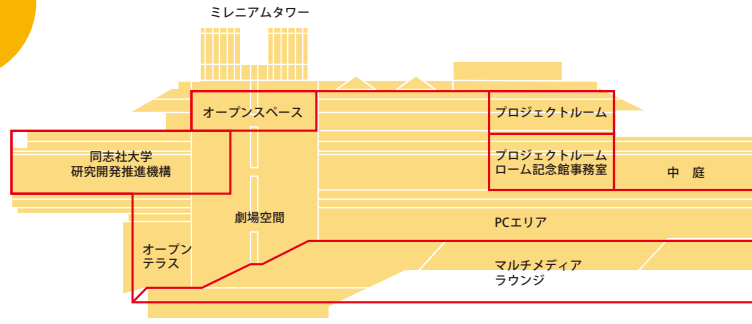
2016年度 プロジェクト紹介



書類選考、ヒアリングを経て、第13期のプロジェクト8件(エントリー数:10件)がスタートする。この春、プロジェクトルームはリニューアルし、2階と3階に再配置された。フロアが分かれ、気軽に覗けなくなった、との声もあるが、明るい陽の差し込む最上階のオープンスペースが、プロジェクト間のコミュニケーションの場になればと願う。



フロアのご案内



RM206 えこ学@京田辺

- ◆目標 京田辺市立小学校で環境に関する授業を実施し、「エネルギー」「廃棄物」「自然環境」をテーマとした小学生向けの環境教育プログラムの開発を目指す。
- ◆主な活動
 - 京田辺市立小学校での環境教育授業の企画・運営
 - 小学生向け環境教育プログラムの開発
- ◆プロジェクト責任者 畠山 啓 (同志社女子大学 現代社会学部助教)

RM207 京和紙プロジェクト

- ◆目標 和紙の機能を活かした若者向けの新しい製品の開発を目指す。
- ◆主な活動
 - 和紙およびターゲット層、販路に関する調査
 - 和紙を使った新しい商品の企画・開発
 - 開発する和紙製品の販売および販売促進活動
- ◆プロジェクト責任者 土屋誠司 (同志社大学 理工学部准教授)

RM208 IJA (Internationalizing Japanese Arts)

- ◆目標 剣道や空手など、部活動を通して留学生に日本文化を体験できる場の提供と留学生のクラブ加入による継続的な国際交流を目指す。
- ◆主な活動
 - 複数クラブ参加による留学生招致イベントの企画・開催
 - 各クラブへの留学生加入のためのプログラム企画・運用
- ◆プロジェクト責任者 Bettina GILDENHARD (同志社大学 グローバルコミュニケーション学部准教授)

RM209 たびプロ ~木津川市プロデュースプロジェクト~

- ◆目標 木津川市内中学校チームと連携し、海外からの観光客を対象とした木津川市ツアープランの開発と実施を目指す。
- ◆主な活動
 - ツアープランの開発および実施とWeb等を活用した広報活動
 - 木津川市立中学校生徒チームとの活動 ●木津川市PRムービーの企画・制作
- ◆参加団体 木津川市教育委員会・特定非営利活動法人プロデュース・テクノロジー開発センター
- ◆プロジェクト責任者 飛龍志津子 (同志社大学 生命科学部准教授)

RM218 technologica テクノロジカ

- ◆目標 ロボット系イベントへの出場を通じた技術の向上やその共有、NHK学生ロボコンでのアイデア賞受賞を目指す。
- ◆主な活動
 - ロボットを主とする技術系キュレーションサイトやWebサービス「Robby」による情報発信
 - NHK学生ロボコンや伊勢ギョーフェアをはじめとするロボット系イベントへの出場
- ◆プロジェクト責任者 橋本雅文 (同志社大学 理工学部教授)

RM220 ROBOX

- ◆目標 小中学生を対象としたC言語でのロボット制御プログラムの教材開発と教室運営を目指す。
- ◆主な活動
 - 開発した教材を使ったロボット教室の企画・運営
 - ロボット製作の教材開発
- ◆参加団体 けいはんなジュニアロボットクラブ
- ◆プロジェクト責任者 橋本雅文 (同志社大学 理工学部教授)

RM307 同志社スポーツ応援隊

- ◆目標 硬式野球、ラグビーおよびラクロス女子などをメインとして、学生の大学スポーツ応援・観戦のきっかけづくりとなるイベントの開催と成功を目指す。
- ◆主な活動
 - 学生の大学スポーツ等に関する意識調査 ●大学スポーツ観戦バスツアー企画・実施
 - パブリックビューイングおよび体験イベントの企画・運営
- ◆参加団体 同志社大学学生支援センタースポーツ支援課
- ◆プロジェクト責任者 二宮浩彰 (同志社大学 スポーツ健康科学部教授)

RM308 スタディドットVR

- ◆目標 科学をテーマにVR(ヴァーチャルリアリティ:仮想現実)を利用したスマートフォン向けゲームアプリの開発と運用を目指す。
- ◆主な活動
 - 化学反応や物理法則などの科学に関するデータ収集
 - VR技術を活用したアプリの開発
 - ゲームによる学びを促進させる攻略サイトの制作・運営
- ◆プロジェクト責任者 大久保雅史 (同志社大学 理工学部教授)



2016
ブレ・プロ
春紹介

メンバー
募集

2016年ブレ・プロジェクト<春> 「京田辺校地開校30周年記念 プロモーションムービー制作プロジェクト」

5/17 ~ 7/19 毎週火曜日 17:00 ~ 18:30



第5期目となる2016年春のブレ・プロジェクトでは、「京田辺校地開校30周年」をテーマにしたプロモーションムービーを制作する。昨年春のブレ・プロでも担当いただいた櫻井 篤史先生(ファインダーズ・ビューロー代表)を講師に迎え、「プロモーション」の考え方や手法から、撮影・編集技法、企画、さらにはチームビルディングまで、社会に出てからも役立つさまざまなスキルを実践的に学び、身に付けることをねらいとして展開する。

1986年、大学・女子大学同時に開校した京田辺キャンパス。30年を経たキャンパスの「今」、30年の歴史やうつつかわり、キャンパスの建物や自然、人など、どのような視点でプロモーションするのはチーム次第。

チームでの活動では他のメンバーの自分とは違う発想に気づきを得ることもある。多様な発想から魅力的な作品が出来ることに期待したい。

4月下旬からメンバー募集を開始予定。「プロジェクト」を体験したことのない人にこそ、是非チャレンジしてもらいたい。

2015年ブレ・プロジェクト<秋> 「新しい『文具』の企画～企画立案の極意と実践～」

10/6 ~ 1/12 毎週火曜日 17:00 ~ 18:30

2015
ブレ・プロ
秋活動

活動
レポート



2015年秋のブレ・プロジェクトのテーマは、昨秋に引き続き「新しい『文具』の企画」。今回はコクヨ株式会社の協力のもと実施した。

前半は、市場調査やSWOT分析の手法を学びながら「ハサミ」「シャープペンシル」「テープ」をお題に新商品を企画し、各チームがプレゼンテーションを行った。後半は新たなチーム編成で、「書く」「貼る」「綴じる」の行動から困りごとを見つけ、それを解決する商品を企画。実際に商品企画の現場で活躍するコクヨ社の社員3名から、直接アドバイスを頂きながら商品を考案した。最終報告会では、各チームが企画した文具について試作品などを用いながら発表。コクヨ社の社員5名が審査員となり、1位の「コクヨ賞」の選考と各チームへのフィードバックを行った。文具のプロからの鋭い視点でのコメントに、メンバーも大いに刺激を受けたようだ。

Pick
up!

プロジェクトライフ お教えします！

2016年のプロジェクト始動を控え、去る1月、スタジオZero主催の「プロジェクトメンバー捕獲大作戦！」が展開された。

4月から始まった1年も終わりが見えるこの時期に、次の春からの学生生活に取り入れる選択肢のひとつとして「プロジェクト」を入れてもらうきっかけをつくろう、というもの。

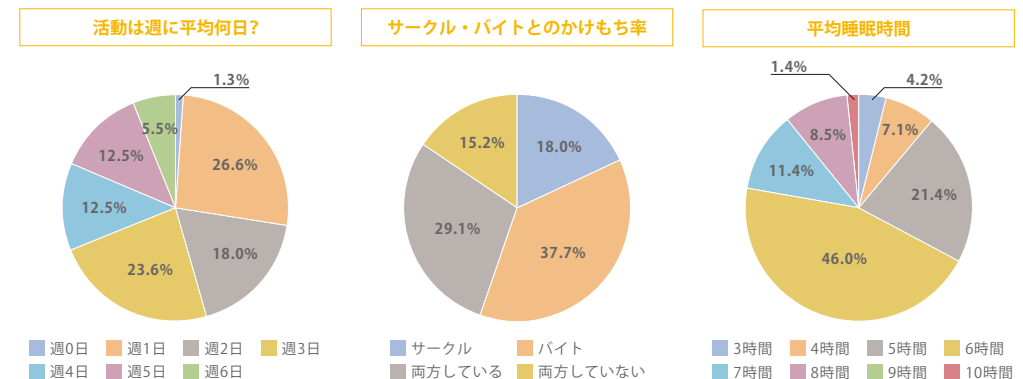
年間スケジュールやメンバーのインタビューを掲載した広報誌「ippo No.37」を発行し、プロジェクトライフのプレゼンテーションや交流会もおこなった。

ここでは、2015年度メンバーを対象にしたアンケート調査の結果から、イベントで伝えきれなかったプロジェクトライフの一端をご紹介します。



プロジェクトメンバーアンケート調査結果

アルバイトや別のクラブ・サークルなどとのかけもちをしているメンバーが8割以上ということで、活動は週に1日～3日、というメンバーも多い。とはいえ、ランチタイムや授業の空き時間はプロジェクトルームにいる、という人も多く、お弁当を食べながら打合せをしていたり、わからないことを教えあっていたり…午後になると常に誰かがルームにいる印象。5講時まで授業があることも多いため、活動が終わるのは20時頃、というのが日常的なようだ。レポートや課題に活動に、と忙しい時期はどうしても睡眠時間を削りがちだが、平均して6時間。マンガやゲーム、動画サイトの視聴にハマっているメンバーも多いことを考えると、睡眠時間が短いのはプロジェクト活動のせいだけではないはずだ。





2015年度 最終成果報告会・同志社ローム記念館大賞発表会

高まる緊張感。年に一度、劇場空間ははりつめた空気に包まれる。
 8チームとも活発な活動と高い成果をアピール、委員による賞の選考でもかなり難航したようだ。
 大賞発表会では、受賞を逃して悔し涙を流すメンバーもあり、各チーム活動の充実ぶりが伺えた。



「みんなの記憶に残る報告会になったでしょうか。」

この報告会を運営するのは「スタジオZero」。
 アカデミー賞の受賞式をイメージした会場装飾や記念品のデザイン、賞の選考時間を活かした交流会の企画運営、司会進行まで、約3ヶ月をかけて準備した。
 プロジェクト活動を支える立場で継続して活動を展開するスタジオZeroにとっても、この報告会がひとつの節目となる。念入りに準備をしたつもりでも、ちょっとしたミスや思いがけないトラブルもある。彼らにとっては長い長い1日だ。
 「みんなの記憶に残る報告会になったでしょうか。」閉会后、企画統括を努めたメンバーがぼつりつつぶやいたことばが印象的だった。





同志社ローム記念館大賞

トロフィー・賞状・副賞(賞金5万円・記念品)

VR Agency

●プロジェクトリーダー
雨森千周 (同志社大学理工学部)

●プロジェクト責任者
林田明 (同志社大学理工学部教授)

●メンバー数 22名

<授賞理由>

手軽に宇宙旅行ができるVRのシステム開発を行い、質の高いアプリを公開している。そのプロセスにおいてメンバーそれぞれのスキルアップが見られ、チームとしての一体感も感じられた。また、旅行者として興味深いパンフレットを作成し、今後のダウンロード数の増加も期待できる。



「スマートフォンを手に素敵な宇宙の旅へ」

エントリー時から緻密な活動計画を立て、着実に開発を進めた。はじめて使うゲームエンジンでの開発に日々試行錯誤、さまざまなトラブルにも見舞われながらも、予定通り、秋にiPhone向けアプリ「Univeler」をリリース、ユーザーの声を反映し、バージョンアップを重ねている。オリジナルの簡易ヘッドマウントディスプレイが作れるワークショップも展開し、手軽にVR(バーチャルリアリティ)で宇宙の世界が体験できるように工夫した。大人の知的好奇心をくすぐる宇宙旅行アプリ、ぜひダウンロードしてお試しいただきたい。



同志社ローム記念館大賞 優秀賞

トロフィー・賞状・副賞(賞金2万円・記念品)

DIT (Doshisha Institute of Technology)

●プロジェクトリーダー
森本諒子 (同志社大学理工学部)

●プロジェクト責任者
大久保雅史 (同志社大学理工学部教授)

●メンバー数 13名

<授賞理由>

同志社からの新たなエンジニア育成を目指し、その目的のために着実に同志社大生を対象としたウェブ勉強会やハッカソンを開催した。勉強会では、多くの初学者にプログラミングの楽しさを伝え、ハッカソンでは複数企業の協力を集めつつ、勉強会の成果を学生向けに発展させた。参加者に対する貢献はもろろんのこと、企業協力を通じた社会的な活動も評価できる。プロジェクト終了後の活動もおおいに期待する。



「プログラミングをもっと身近に」

夏に続き、2回目となる「DIT Winter Hackathon DHacks」が2月19日(金)・25日(木)・26日(金)の3日間で開催された。初心者でも安心して参加できる同志社生によるハッカソンイベントだ。秋学期からの勉強会参加者も増え、今回のイベントには同志社大学、同志社女子大学の学生38名が参加、9チームに分かれて競い合った。「同志社×コミュニケーション」をテーマに、キャンパス間、留学生と日本人学生、サークルと学生…と切り口もさまざま。最優秀の「DIT賞」には、不要になった家具や家電の売り買い、作りすぎた料理のシェアなど、一人暮らしの学生のために「集まる」「分ける」「教える」で交流をはかるWebツールが選ばれた。



外部審査員特別賞

賞状・副賞(記念品)

新商品開発プロジェクトFLap

●プロジェクトリーダー
高橋美瑛 (同志社女子大学学芸学部)

●プロジェクト責任者
二瓶晃 (同志社女子大学学芸学部助教)

●参加団体
グンゼ株式会社・株式会社洛林舎

●メンバー数 15名

<授賞理由>

学生の若々しいアイデアを活かしユニークで斬新なデザインの試作品までこぎつけた成果はとて素晴らしい。プレゼンテーションも工夫がこらされ、アピール力があつた。学生という枠を超えたプロジェクトを展開された。



ベストプレゼンテーション賞 (学生メンバー相互評価)

賞状・副賞(記念品)

DIT (Doshisha Institute of Technology)

2015年度 プロジェクト活動レポート

大学生のアイデアで今ドキ新商品開発！

新商品開発プロジェクトFlap



マーケティングを学びながら春夏、秋冬それぞれの季節にあったレグウェアの商品開発に取り組んできたメンバーたち。

秋以降は、タイツ、ソックスの秋冬商品開発に挑んだ。連携企業であるグンゼ株式会社へ出向き、開発のプロである社員のみなさんの前で企画をプレゼンテーション。ソックス

のアイデア「ゆるカジソックス」に注目が集まり、試作へ進展、3月9日(水)～11日(金)にグンゼ社が開催したバイヤー向け展示会に出品された。プロジェクト名のとおり、「新商品開発」となるか、メンバーをはじめ関係者は大きな期待を寄せている。

オリジナルのロボット製作教室を開催

ROBOX



年間3回の「ロボット製作教室」を展開したROBOX。1回の教室は、「組み立て・配線編」と「プログラミング編」それぞれ3時間で2日間に分けて行う。

よりわかりやすく、よりおもしろくしようと、細部にまでこだわり、直前まで工夫を重ねる。「プログラミング編」当日の開始前には、前回作った機体が家でもちゃんと動いていたか確認し、不具合があればすぐに対応する。参加者の子どもたちだけでなく、保護者とのコミュニケーションも重要で、メンバーがそれぞれに気配りをしながら教室を進める。ロボット製作教室を通して、運営する側のメンバーこそが、子どもたち以上に成長させてもらえたのではないだろうか。

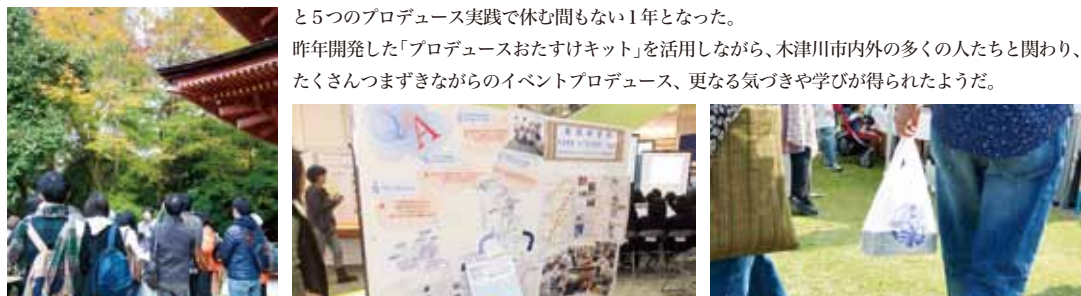
5つのまちおこしプロデュース

木津川市イベントプロデュースプロジェクト



木津川市のまちをフィールドにイベントプロデュースに挑戦。本プロジェクトで開発した「きづのもり」デザインの入ったTシャツをユニフォームに、同志社クローバー祭での「木津川キャラバン」、やましろまつりでの竹とうろうイベント「BFI」、英語版まちあるきマップ「KAMO HISTORY MAP」の開発に、留学生とともに加茂エリアのお寺や石仏の道を巡った「きづな旅」の実施、と5つのプロデュース実践で休む間もない1年となった。

昨年開発した「プロデュースおたすけキット」を活用しながら、木津川市内外の多くの人たちと関わり、たくさんつまづきながらのイベントプロデュース、更なる気づきや学びが得られたようだ。



環境教育の授業を小学校2校で実践

えこ学@京田辺

1学期の草内小学校に続き、2学期には普賢寺小学校4年生の授業に臨んだ。エコクイズやリサイクル工作からスタートしたプログラムは、「自然の循環」をテーマに、「森の役割」「水の循環」「食物連鎖」の3部構成で進め、実験では子どもたちがいきいきする姿に手ごたえを感じた。

2校での授業の実践をもとに、今回のプログラムを環境教育教材としてまとめたが、メンバーにとっても、小学生での授業を通して子どもたちからいろいろなことを教えてもらった。この経験が新たなプロジェクトで大いに役立てられそうだ。



同志社生に同立戦や同志社ラグビーを知ってほしい！

同志社スポーツ応援隊



「楽しかった!!」参加者の笑顔にほっとするメンバーたち。伝統の同立戦観戦バスツアーは約2時間のプログラムだ。車内でのゲーム企画に、一体感を生み出すオリジナルのフェイスペイントシール。選手名鑑も配られ、応援で慌てないよう予習もできた。スタジアムでは、応援団が万全の体制で迎えてくれ、気づけばみんな応援に夢中になった。同志社クローバー祭では、誰でも投票できるラグビー部員の

「筋肉・イケメン総選挙」を実施。ワールドカップでの日本チームの活躍でラグビーに注目が集まっていたことも追い風となり、予想を遙かに上回る反響を得た。

やってみてわかったこともたくさんあり、悔しい思いもした。そんな経験を次年度の活動に活かしてほしい。

Pick up! 同志社クローバー祭2015
10月31日(土)・11月1日(日)

各プロジェクトが館内外でプロジェクトテーマに関連したイベントやブースの出展、出店を企画。市民や学生など多くの方に来場いただき、大盛況であった。



新商品開発プロジェクトFLap	ROBOX	DIT
商品開発の裏側をのぞいてみよう!	ものづくり教室 ～走れ! ミニロボ!～	世界を引っかき回せ! スクラッチで体験するゲーム制作の第一歩
 <p>これまで取り組んできた商品開発の流れをパネルで紹介。様々なタイプの靴下やタイツを展示したブースには多くの女性が訪れ、インタビュー形式でのアンケート調査で多数の意見をいただいた。</p>	 <p>作りながら仕組みを学ぶ「探査ロボ」と、振動モーターを用いたかわいらしい動きが特長の「ペーパーフィギュア」の製作教室を開催。作ったロボットを動かすフィールドも設け、多くの子ども達を楽しんでいた。探査ロボの教室は「プログラミング編」との2回コースで、後日11/15(日)に開催した。</p>	 <p>子ども向けプログラミング言語「Scratch」を用いたゲーム制作ワークショップを開催。メンバーが製作したシューティングゲームの体験会も実施した。親子で楽しむ姿が見られた。</p>
同志社スポーツ応援隊	えこ学@京田辺	木津川市イベントプロデュースプロジェクト
チャレンジTheラグビー	地産地消学@京田辺	木津川キャラバン
 <p>ラグビーボールを投げて的の穴を通す的抜きやステップの体験会を実施。参加者にはオリジナルフェイスバインディングを配布した。同志社ラグビー部員のイクメン&筋肉総選挙も実施。子どもから大人まで楽しめる企画であった。</p>	 <p>館内では、フードマイレージの考え方を学び、楽しみながら体験できる買い物ゲームを開催。館外では、「串揚げ@京田辺」の出店を運営、京田辺産えびも・なす・じゃがいもの串揚げを販売。館内の企画とともに地産地消をアピールした。</p>	 <p>木津川市のグッズ、特産品の梅谷大根のおでんや旬なスイーツ、おやきを販売。キャラバンを企画した中学生や、木津川市のマスコットキャラクターいづみ姫やたけのこタッキーも駆け付け木津川市の魅力をPRした。</p>
VR Agency 宇宙旅行アプリ体験 宇宙旅行キット作成ワークショップ	VRツール これで君も操縦士! — 体験! フライトシミュレーター —	スタジオZero ロームでハロウィン! ～おかしな大戦争～
 <p>開発中のスマホアプリ「Univeler」の体験会と、厚紙で作れる簡易ヘッドマウントディスプレイの制作ワークショップを実施。参加者にはノベルティも配られた。</p>	 <p>飛行機の操縦が体験できるメンバーオリジナルのコンテンツ「フライトシミュレーター」の体験会を開催。Oculus Riftというヘッドマウントディスプレイを装着して、本格的なVRの世界観を体験できた。</p>	 <p>ハロウィンにちなんで各プロジェクトの活動やテーマをもとにイメージしたおぼけをデザイン。館内の様々な場所に隠れているおぼけを探し出すラリー型イベントを実施した。</p>

Event Report

イベント報告 2015年10月～
2016年3月



Doshisha Spirit Week2015秋
同志社大学応援団 演奏
11月4日(水)
主催: 同志社大学
キリスト教文化センター



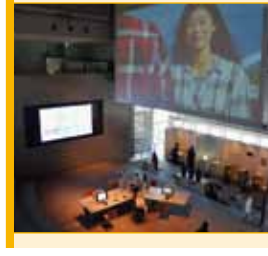
ロームフェア2015
11月5日(木)～6日(金)
主催: ローム株式会社



プログラム
「SILT」サウンドアート
パフォーマンス
12月2日(水)
主催: 同志社大学
京田辺校地学生支援課



京たなベスポーツ教室2015
～オリンピック・
パラリンピアンに学ぶ～
12月12日(土)
主催: 同志社大学
スポーツ健康科学部
特別講義A-3(スポーツ・マ
ネジメントプロジェクト)所
属 オリンピック・パラリ
ンピック班



2015年度同志社女子大学
情報メディア学科進級制作展
「博-MARUHAKU-」
2月19日(金)～24日(水)
主催: 同志社女子大学 学芸学部
情報メディア学科

イベント

プログラム
「アロハフェスティバル」コンサート 10月7日(水)
「ゴールデンタイム」映画上映・メイキングトーク・展示会 10月14日(水)
ギタリスト「馬道まさたか」コンサート 1月14日(木)
主催: 同志社大学 京田辺校地学生支援課

森・有賀・二瓶ゼミ3年次生合同制作
京都市共同広報プロジェクト映像作品発表会
10月20日(火)
主催: 同志社女子大学 学芸学部 情報メディア学科

ステップアッププログラム
「スマートな、大人になろう!」「返済…遅れるとどうなるの?」「ケタイ教室」
10月26日(月)・10月27日(火)
主催: 同志社大学 京田辺校地学生支援課

同志社クローバー祭 巨大スクリーンでゲーム!
11月1日(日)
同志社クローバー祭中に劇場空間で開催。
主催: 同志社クローバー祭実行スタッフ

2016年度新入生住まい相談会
11月14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日(日)、28日(土)、29日(日)
12月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)
主催: 同志社大学 学生生活課

第2回 ロボット製作教室(「ものづくり教室」プログラミング編)
11月15日(日)
小・中学生対象のロボット製作教室。「組み立て・配線編」に続き
プログラミングを実施。
主催: 同志社ローム記念館プロジェクト「ROBOX」

フェアトレードコーヒー・紅茶を飲もう!
12月7日(月)
主催: 同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部 Seminar Project Fair Trade

IELTS説明会
12月8日(火)
主催: 同志社大学 国際センター国際課

簡易HMD(ヘッドマウントディスプレイ)制作ワークショップ
1月12日(火)～13日(水)
主催: 同志社ローム記念館プロジェクト「VR Agency」

プロジェクト解体SHOW
1月13日(水)、15日(金)
プロジェクトの日常や活動のメリットを紹介。軽食付の交流会も開催。
主催: 同志社ローム記念館プロジェクト「スタジオZero」

グローバル教育センター海外プログラム説明会(アメリカ・ベトナム)
1月18日(月)・1月21日(木)
主催: 同志社大学 国際化推進室

グローバル教育センター 英語で学ぶ全学共通教養教育科目説明会
1月19日(火)・3月25日(金)
主催: 同志社大学 日本語・日本文化教育センター

「学びへのいざない」生命科学特論特別講義「第四期医心塾」最終報告会
1月20日(水)
主催: 同志社大学 学習支援・教育開発センター

第3回 ロボット製作教室
2月7日(日)、14日(日)
詳しくは、P11を参照
主催: 同志社ローム記念館プロジェクト「ROBOX」

第59回プロデュース・テクノロジーフォーラム
「茶源郷 和東からつなぐやましろツurisズム」
2月23日(火)
主催: 特定非営利活動法人 プロデュース・テクノロジー開発センター

DIT Winter Hackathon「DHacks」
2月25日(木)～26日(金)
詳しくは、P10を参照
主催: 同志社ローム記念館プロジェクト「DIT」

なぜニ化学クイズショー
3月27日(日)
主催: 公益社団法人 日本化学会

展示

フォーミュラー展示
10月1日(木)～
主催: 同志社大学 機械研究会

同立戦観戦バスツアー 申込ブース設置
10月1日(木)～9日(金)
主催: 同志社ローム記念館プロジェクト「同志社スポーツ応援隊」